

広報うらそえがあなたのお家に届くまで

広報うらそえは市役所の国際交流課で作成しています。広報うらそえが皆さんの家庭に届くまでをご紹介します。

1 毎月5日までに各課から掲載する内容をまとめ、記事にする作業を行います。自ら取材に行くこともあります。



3 印刷には約1週間かかり、毎月1日に発行できるよう毎月24日頃までに印刷の指示を出します。

4 広報うらそえの印刷が全て終了し、毎月1日に各自治会へ配布されます。

5 その後、各自治会の事務連絡員が各家庭へ広報を配布します。

2 記事の作成ができたら、ページごとに印刷会社へ提出し、戻ってきたら、校正を行います。
☆この作業を数回繰り返して誤字脱字や訂正がないか確認し、印刷へ進みます。

表紙を飾った人にインタビュー

今回の広報うらそえから100号さかのぼって、第500号の表紙を飾った川上美紀さん（写真中央）にインタビューを行いました。

当時のことを思い出して…

私たちの写真がこんな風に大きく載るなんて思ってなかったので、すごくびっくりしました。友達からの反響も大きくて、今でもこのことについて言われます。

今後の広報うらそえについて…

私は福祉の勉強をしているので、ボランティア活動に関する記事に目がとまります。福祉活動に関することがもっと多く載っていると嬉しいです。

川上美紀さん

人とまちをつなないで600号…



1957年に広報うらそえ第1号が発行されてから、今月号で600号を迎きました。600号に至るまでの約半世紀、広報うらそえは様々な変化を遂げて現在の形になりました。

今回、600号を記念して今までの広報紙の中から4点をピックアップしてご紹介します。

第1号が発行された1957年、浦添はまだ村の時代で、人口も現在に比べて約9万人も少ない2万人程度でした。その後は、発展し人口も増え続け、現在は約11万人の市民が浦添に住んでいます。

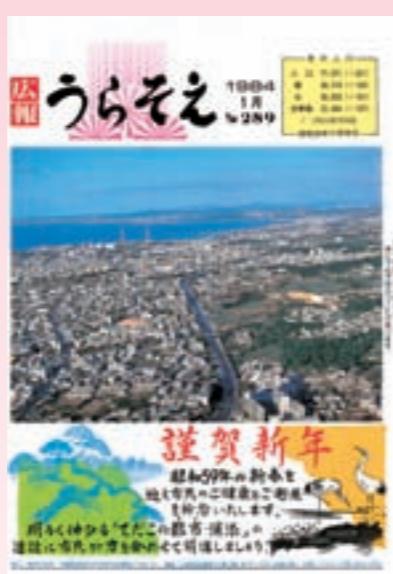
広報うらそえはこの約半世紀の間に、だんだんと写真やページを増やし、少しでも多くの市民に読んでいただけるように工夫をしてまいりました。そして、2003年5月号よりオールカラーになり、現在の広報うらそえの形となりました。

今後も市民の皆様に市の情報を伝えし、親しみのもてる広報紙づくりにまい進してまいります。これからも広報うらそえをよろしくお願いします。

問い合わせ 国際交流課
☎876-1234 (内線2613・2614)



当時の人口: 105,532人
表紙: 勢理客保育園のこいのぼり掲揚の様子
内容: 給食のおはなし等
2003年の主な出来事: 浦添市では
・仲西小学校創立100周年
世界では
・SARS（重症急性呼吸器症候群）が流行



当時の人口: 77,071人
表紙: 上空から見た浦添市の街並
内容: 市民憲章推進協議会が発足等
1984年の主な出来事: 浦添市では
・港川中学校開校
・浦添市社会福祉センターの落成
世界では
・日本の平均寿命が男女ともに世界1位



当時の人口: 39,411人
表紙: 屋富租、宮城境線舗装工事の様子
内容: 選舉の注意事項等
1969年の主な出来事: 浦添市では
・第1回商工祭を開催
世界では
・人類初の月面着陸



当時の人口: 20,303人 (12月末)
内容: 村民の声（村に対するご意見の募集）
1957年の主な出来事: 浦添市では
・村育英会の発足
世界では
・ベルリン国際博覧会が開催

全ページがオールカラーに 2003年(平成15年)5月発行

より親しみやすい広報紙を目指して、2003年の5月号からは現在の広報うらそえと同じように中のページも全てカラーになりました。それまでは3色刷りで、はっきりしなかった写真や文字がカラーになり、以前に比べて読みやすくなっています。

初のカラー表紙 1984年(昭和59年)1月発行

1984年の1月号に初めてカラーの表紙が採用されました。この頃、中のページは3色刷りで16ページになり、その後も、門出を迎える毎年1月号や、重要な行事がある月の表紙にはカラーが採用されるようになりました。

表紙付きになりました 1969年(昭和44年)2月発行

タブロイド版からB5版の4ページとなり、表紙ができました。表紙は、現在の広報紙と同様に毎回異なる写真を使用していますが、この当時は建築物や道路の写真が主でした。

広報うらそえ創刊 1957年(昭和32年)9月発行

初めて広報うらそえが発行されました。当時の広報うらそえは現在とは異なり、1枚の紙の裏表に文字がぎっしり詰まっていて、新聞のようなものでした。